

令和7年7月23日

白河市教育委員会

7月定例会会議録

令和7年7月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 令和7年7月23日（水）
開 会 午後3時
閉 会 午後4時45分

場 所 白河市役所 全員協議会議室

報告事項

- （１）教育長報告
- （２）各課所報告

議 事

- 議案第17号 令和8年度使用小学校用教科用図書の採択について
- 議案第18号 令和8年度使用中学校用教科用図書の採択について
- 議案第19号 令和8年度使用学校教育法附則第9条に基づく一般図書の採択について

○ 出席委員

教育長 芳賀 祐司 1番委員 高橋 顕 2番委員 北條 睦子
3番委員 沼田 鮎美 4番委員 瀧澤 学

○ 欠席委員 なし

○ 出席説明員

教 育 次 長	田崎 修二	教 育 総 務 課 長	尾股 淳一
学 校 教 育 課 長	上野 康生	図 書 館 長	中沢 孝之
健康給食推進室長	和知 秀年	生 涯 学 習 課 長	松本 美紀
こども育成課長	鈴木 裕美	学校教育課主幹	鈴木 純子
表郷庁舎地域振興課長	鈴木 高史		

○ 書記

教育総務課総務係長 鈴木 一寿 教育総務課主査 塩田 香織

○ 傍聴人 なし

【午後 3 時 開会】

日程第 1 開 会

○教育長

これより令和 7 年白河市教育委員会 7 月定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第 2 会期の決定

○教育長

次に日程第 2 会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、本日 1 日間といたします。

日程第 3 書記の指名

○教育長

次に日程第 3 書記の指名を行います。書記には教育長において、鈴木教育総務課総務係長、塩田教育総務課主査を指名します。

日程第 4 教育長報告

○教育長

次に日程第 4 教育長報告に入ります。それでは、私から 2 点報告いたします。

1 点目ですが、今月 10 日（金）にいわき市で行われた東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会に委員の方々と参加してきましたが、元大熊町教育長の講演では、会津若松市に全町避難となり、いくつもの困難を乗り越えて学校を再開するまでの取組を具体的に話されました。前日に見学した津波で被災した元浪江町立請戸小学校校舎の様子と併せて、学校は子どもたちが友達とかかわり様々な活動をする安全で安心な居場所であればならないと改めて感じたところです。

2 点目ですが、7 月 21 日より 8 月 24 日まで夏季休業日になっております。21 日は海の日で休みのため実質は先週の土曜日 19 日より休みとなりましたが、事故のない楽しい夏休みとなっていてほしいと思っております。以上です。

日程第 5 議 事

○教育長

次に日程第 5 議事に入ります。

今回提案しました議案第 17 号から議案第 19 号までの 3 議案については、非公開にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

○教育長

ご異議なしと認めます。よって、同案件につきましては、非公開として後ほど審議することといたします。

日程第 6 各課所報告

○教育長

次に日程第 6 「各課所報告」に入ります。それでは行事報告、行事予定について教育総務課から順次報告をお願いします。

(教育総務課長から順次報告)

○教育長

その他各課所からございますか。

○教育次長

5 月の定例会で、瀧澤委員から質問のありました旧信夫第二小学校の校舎等利用について説明させていただきます。

本市では廃校施設リノベーション事業として、修繕費用に 2500 万円を上限とし補助を行っております。その申請が団体より提出され、補助決定となりました。申請内容は、改修工事として、屋上の防水や給水施設、暖房エアコン機械設備、体育館の屋根の修繕等となっております。工事は 9 月末の完了を見込んでいるとのこと。

○教育長

その他各課所からございますか。

○表郷地域振興課長

表郷地域学習塾の開設について、説明させていただきます。

初めに目的や経緯についてですが、表郷地域におきましては、令和 4 年 3 月に過疎指定を受け、これまで表郷地域活性化協議会と過疎対策について検討を重ねて参りました。近年、表郷地域におきましても、子育て世代の方々が近隣市町村へ転出するというのが目立っており、安心して子供を育てられる、環境を整える必要があるとの考えになりました。

そこで子供たちに学ぶ機会の充実と、学力向上を図ること、併せまして、当地域で抱えて

おります過疎特有の教育における地理的格差、或いは経済的困窮者に対する格差、こういったものを是正することを目的としているところでございます。

当塾に入塾できる対象者、会場、時間、講師、ルール等については別紙資料のとおりです。

なお、9月開校に先立ちまして、特別事業を福島大学の森本明教授と教員を志す福島大学の学生2名が、8月5日火曜日に表郷公民館で、当塾の受講生を対象に、算数・数学の授業を行っていただく予定です。

受講料は、無料となります。定員については、会場の規模などから小学生を15名、中学生を30名、合わせまして45名を想定しております。今日現在、小学生14名、中学生が6名の申し込みとなっております、引き続き募集をしていきたいと考えております。

運営につきましては、当塾の開設の趣旨に賛同いただきました事業所や個人団体から賛助金が運営費となっております。

当塾の学習につきましては、算数・数学の共通の参考書を使い、自分のペースに合わせ、各自の判断で算数・数学以外の勉強をしたり、宿題やテスト勉強を自主的に進めていただき、そこでわからないところを講師に聞くスタイルとなります。講師からは、勉強の仕方や、家庭での学習方法など、受講生に伝えることといたします。

以上が、この9月に開設予定の表郷地域学習塾に関する説明でございます。

○教育長

その他各課所からございますか。

○学校教育課長

全国学力学習状況調査の結果について、中学校の理科は従来と異なるということを説明させていただきます。

今年度の中学校理科について、CBTと言われるコンピューターによるテストで実施され、学校ごとに出題された問題が異なる形で実施されました。それにより、結果としても今まで使っていた平均正答率の代わりに、IRTスコアという、新しい指標が使われるようになりました。

このIRTスコアは、国際的な学力調査で採用されているテストの理論で、異なる問題から構成される試験の結果を、同じ尺度で比較できるものです。難易度等を考慮し、単純なその正答率ではなく子供たちの学力をより正確に把握できるものです。このIRTスコアは、標準点が500点となっています。

○教育長

それでは、これより一般質問に入ります。各課所報告及び本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○高橋委員

生涯学習課の青少年健全育成推進大会に参加させていただきました。

子供達の発表、すごくよかったなと思っております。学校の中での雰囲気がわかるような発表をした子供がいて、その学校のよさっていうのが感じ取れたかなと思いました。

そのあとの芸術鑑賞では、今回各学校の校歌を全部アレンジして演奏してくれましたが、これについては事前に相手と打ち合わせや進め方についての問い合わせがあったのでしょうか。

○生涯学習課長

特にこちらからのオーダーはないのですが、昨年度から参加型に変えていっております。生徒の興味関心を引き、印象や記憶に残るような内容になることをお願いしております。

○高橋委員

各学校、盛り上がっていましたね。始めジャズと聞いた時には、難しいのではと思っていたのですが、実際聞いてみるとすごく良くて、子供たちにとっていい機会になったと思います。今後もそのような形でやっていただけることを期待します。

○沼田委員

先ほど高橋委員からもあった芸術鑑賞の件ですが、子供たちからもとてもよかったということ聞いています。このジャズアレンジを1回きりの演奏で終わらせてしまうのはもったいないなという気持ちがありまして、各学校での催しものなどがある時に、保護者にも聞いていただけるような機会があったらいいなと思ってご提案させていただきました。

○生涯学習課長

保護者等に何かアプローチできるような方法などあれば、学校教育課と相談をしながら、進めていければと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

○沼田委員

健康給食推進室に質問します。お米の仕入先について伺います。学校給食にも、アメリカからのお米が入ってくることはあるのでしょうか。

○健康給食推進室長

学校給食に提供しているお米につきましては、学校給食会を経由して各自校給食校、給食センターで契約しており、すべて白河市産コシヒカリを JA 夢みなみ等を経由し、納めてもらっております。

契約につきましても、表郷・東地区の小中学校は毎年新米ができる11月、12月頃に、給食センターは4月に年間の契約をし、必要数量につきましても、前年度中に来年度の見込み

数を報告し確保してもらっておりますので、途中で米が不足することはございませんので、安心していただければと思います。

○北條委員

表郷地域学習塾の申し込み数について、中学生 30 名に対して 6 名ということですが、これは部活等との兼ね合いなののでしょうか。それとも別な学習塾、夏季講習等の参加がすでに決まっていて、参加しないというようなことでしょうか。

○表郷地域振興課長

参加者の動機などの分析はまだできておりません。白河や棚倉の塾に通ってる子もおり、時間的に合わないのか、それとも部活が忙しいのかなどは、今後分析をしながらやっていきたいとは思っています。

小学生に対して、中学生の申し込みはまだ少ない状況でありますので、募集期間を伸ばして周知をしていきたいと思っております。

○北條委員

小学校のうちに、基礎学力を低学年の時からつけていけるといいのかなと思います。積み重ねの教科ですので、他の学区にも波及してくるといいなと思っております。頑張っていたきたいと思います。

○瀧澤委員

りぶらんの報告事項について質問します。6 月の利用状況の中で、一般利用者数における年齢層の内訳や比率などは、ある程度わかりますか。

○市立図書館長

大体はわかります。そのなかでも中高年層の割合が多い印象はございます。

○瀧澤委員

趣味として、「読書」というものは必ず出てきています。読書がお金もかからず教養もつき、60 代以降の趣味としては、大変よいという内容の記事をネットで拝見しました。

時間的に余裕ができる年齢の方々がたくさん図書館に行って、そこでいろいろな教養をつけて、楽しめるようであればいいなと思いますので、年配の方が行きやすいような、そういう作りも 1 つ考えていただきたいなと思います。

それともう 1 点、大信地域を案内しているパンフレットを子供たちが作成し、いろいろなところに配布していただいた。それを見た方が記載してあるおすすめスポットを回ってくださり、私の所に来てくれたお客さんがいました。こんな風に自分たちの住む地域のことや、その歴史を勉強している子供たちが、自分の地域をすごくいい場所だ、そして大切にしよう

という思いのもとパンフレットを作成してくれたのかなと思って、大変気持ちがいいことだったのでご報告させていただきました。

○高橋委員

表郷の地域学習塾について質問です。

以前、私自身、運営側と指導側と両方に携わった経験があり、その時に運営するリーダーが大事だと感じました。全体を掌握する立場になると思われるリーダーについて、どのように考えていますか。

また、もう1点、先ほどの説明の中でありました時間についてですが、休み時間はきちんと取っていった方がいいと思いました。以前、自由という形にして、うまくいかなかった経験があります。時間で管理した方が、全体の收拾がついて楽なんじゃないかと思います。休み時間のことは、実際やっていく中で変えていけばいいのではないかと思います。

○表郷地域振興課長

講師のリーダーとしましては、長く教育分野で活躍された教員経験者の方にリーダーになっていただき、他は、民間企業で活躍されてきた方、行政職経験者、教員免許を持っている方に協をかためてもらうような方向で進めております。

休憩時間等につきましても、ダラダラとならないように進めてまいります。

○高橋委員

授業に集中できない子ども達や、さっさと自分の課題を終わらせて、何か別なことを、例えば漫画を読んだりする子、親の迎えが来るまでは、ただそこにいるという使い方しかないということも発生したりすると思うので、こちらの期待している方向と違うものになった場合には、保護者などと相談するような場を丁寧に設けていった方がいいのではないかと思います。

○表郷地域振興課長

児童クラブとは違うということを意識して、場合によっては退塾などといったルールの中で進めてまいります。また、保護者に対しても丁寧に説明してまいります。

○高橋委員

どうぞ頑張ってください。

○沼田委員

表郷地域塾について、質問いたします。表郷地域のことをよく考えてくださって、感謝申し上げます。

まず、目的が過疎対策としてこの塾を立ち上げたいということですが、これが過疎化対策に寄与しているのかどうか、また、協賛企業の期待にこたえられるような事業なのでしょうか。

○表郷地域振興課長

過疎対策の部分ではありますが、小さいうちから地域がその子供たちに関わりを持つことで、その地域の子が活躍しているときに、ふるさとを振り返ってもらう、思い出してもらう、その種まきだと私は思っています。

また、協賛金をいただいている事業者に対して、即戦力の部分に寄与できるのではと思います。採用の際に基礎学力が必要だと、企業訪問の中で何度か言われております。そうした人材育成にも繋がる事業であると思っています。

○沼田委員

なぜ、算数・数学だったのか、理由があるのであれば教えていただけますか。

また、今は学習方法が変わりつつあると思っています。通塾から家庭でのオンライン学習の方がメインになってきていると思います。優秀な学生とかが数学だったり英語だったり、学習方法だったりとか、問題の解き方などを動画配信している中で、わざわざ人を集めてやることの意味や魅力が少し感じられないなと思いました。初回は大学教授が来て授業されるということなんですけれども、2回目以降は、自主学習ということで、学習効率が上がるのかなという所に不安を覚えるのですが、その点はどのようなのでしょうか。

○表郷地域振興課長

なぜ、算数・数学かということですが、データの的に算数・数学ができるようになると、読解力がついて、他の教科に波及するというデータがでております。そのためまずは、算数・数学がいいということで進めることにいたしました。

次に1箇所集まって学習する意義ですが、環境の確保の部分がまずは重要であると思っています。

自学自習については、共通の参考書を進めていただきながら、そこでつまづいたところを教えていくスタイルを取っていく予定です。

○沼田委員

無料ということですが、これは協賛金で賄っていると思うのですが、この協賛金は持続的に協賛してもらうのでしょうか。

また無料についても、各家庭から500円でもいいから取るべきじゃないのかなと思っています。協賛金が集まらなくなったときに、持続可能なものにならないのではないかと、思うのですが、そこはどのように考えていますか。

○表郷地域振興課長

協賛金は持続的に頂くことは考えていません。2年目以降は、各種補助金を活用させていただくことを考えております。

無料につきましては、いわゆる公営塾のほとんどが無料で行っており、経済的困窮者の方もございますので、無料でやらせていただくということを考えております。

○沼田委員

もう1点ですが、なかなか人が集まらないという点ですが、それについてはどのように考えておりますか。

○表郷地域振興課長

QRコードによりまして、ネット上では延長する旨は伝えてあります。今回は夏休みの関係で応募期間が短くなってしまったことについて、反省しております。9月以降につきましても、随時募集はしていくような状況で、冬休みの特別授業には十分な時間を持って間に合うように、PRをしていきたいと思います。

○沼田委員

うまくいくように運営していってもらえればいいなと思います。

○瀧澤委員

こども育成課報告事項についてお伺いします。7月2日に幼稚園の園長会議があったみたいですが、これは年に何回もやられるのですか。

○こども育成課長

基本的には年6回開催いたします。ただし、報告事項等がなければ、やらない月もございます。

○瀧澤委員

話せる範囲で結構ですので、どんな内容を会議では話し合うのか教えていただけますか。

○こども育成課長

例えば、すこやか相談会の実施方法や日程などといった、各事業の報告事項です。

また、前回は情報セキュリティに関する注意喚起や個人の意識向上といった、組織として重要な内容について、共通理解を図っております。

○瀧澤委員

終業式が7月18日で始業式8月26日ですが、非常に休みが長いです。この間に、園児達

は幼稚園に集まる機会はあるのでしょうか。

○こども育成課長

園によっては夏祭りや夕涼み会を、夏休みの間に開催しているところもございます。

また、現在は働いている保護者が多いので、夏休み期間中預かり保育を利用されている園児は多くいらっしゃいます。この預かり保育は、保護者の都合で一時的に預かってほしいという場合にも、お子さんがお友達と遊びたいなんていうときも、申し込んでいただければ、一時預かりとして利用可能となっております。

○瀧澤委員

園児に愛情をたっぷりかけるっていうのは、大事な事なのかなと思います。引き続き定例会の報告の時に、わからないことを質問させていただきたいと思います。

○教育長

これにて一般質問を終了いたします。

日程第7 その他

○教育長

次に日程第7その他に入ります。各課所の取組や課題などについて、ご意見、ご質問等がありましたら、この場で取り上げたいと思いますが、何かございますか。

○高橋委員

各課への質問、意見ではないのですが、先日東北6県の市町村教育委員会の連合会総会の後で情報交換会がありまして、市町村教育委員会はどこも苦戦しているなというところを強く感じてきました。ただそのなかで白河市の取り組みは、決して停滞や遅れているという感じはしませんでした。

不登校、部活動の地域移行、登下校の安全管理、学習指導のことなどそれぞれについて話しました。

白河では不登校対策としてQUテスト、こちらをすでに実施しておりますし、中学校の部活動地域移行では、剣道とソフトボールを取り組んでいるということで、剣道の方は県大会にも繋がっていく学校があったというようなことも聞いています。

登下校の安全管理についても、通学路の点検を白河市では学校教育課で行ってくれています。また白河市のように指導主事が複数教科に当たっていらっしゃるって、細かく分担を決めて、取り組んでいき、変わっている所を見ると、上手く進んでいるのだなと思っています。

この4点いずれをとっても白河市では、決して何もできずに手をこまねていることなく、それぞれの対応を適切に行うという感じで、とても良い取り組みを行っていただいているのだなと思って、安心しています。そのお礼を含め、報告させていただきました。

○瀧澤委員

学校の働き方改革、これがどのぐらい進んでいるのか教えていただけますか。

○学校教育課長

毎月の時間外勤務時間の平均について、令和2年度からのデータによりますと、小学校は右下がりとなっており、減少しております。中学校については、令和2年度当時に比べれば減少はしてきているのですが、小学校と比べると、その減少率は小さいのが現状であります。中学校では部活動があり、その後に明日の準備などとなると、月45時間から50時間になってしまいます。部活動がない日を作るなど、各学校において様々な工夫を行い減少しているのは間違いないのですが、国が目指すという月30時間に向けては、まだ色々とやらねばならないことがあるなと考えているところです。

○瀧澤委員

一番激務と言われている教頭先生など、少し改善されたように思えます。今後も極端に残業時間が多くなければ、いいのではないかと思います。

もう1点ですが、学校の先生の平均寿命ってどのぐらいでしょうか。

○学校教育課長

現在、手元に詳細資料がありませんので、正式な数字については、分かりかねるところです。

○瀧澤委員

私の友人は、激務で問題になったことがある大手企業に勤めていいです。その平均寿命は「65歳」、これは改善しないといけないということで、働き方改革として、夜10時になったら職場を消灯するという行動に移したそうです。

他にもAIの活用、省力化できるところは機械にやらせ、無駄をなくす。そうやって改革を進めているそうです。

働き方改革をやる上で、同僚や部下に指導をしなければいけない課長の立場というものは、非常に大変だろうと思います。ただ、これを是正するため、必要最低限の残業で留められることが望ましいと思います。

○教育長

他にございますか。よろしいですか。

○教育長

それでは、これより非公開にした報告に入りますので、これより是非公開といたします。

(以下非公開)

○教育長

それでは、全ての日程が終了しましたので、以上で白河市教育委員会 7 月定例会を閉会いたします。

【午後 4 時 4 5 分 閉会】